

バストス週報

第1576号
昭和五十二年
八月一日
月曜日発行
Diretor
Koiti Mori
Redator
Shoko
Miyatake
Rua 10 de
Novembro 882
C. Post. 112
Fone: 340
Bastos
E. S. P.
Anual
Cr. 110.00
前金
Adiant.

辛勝 福田岳

菅野党退転などとさわがれた七月十日の参院選も大相模の輪高健勝ほどでもないが、自民党がどうやうやうと政権保持のできる程度で勝った。六十五席確保を必要とするが、確実には六十四席、あと一席で獲得できるのだぞうだ。私は政治的な知識があつていふのではないが、保守が勝つと勇つていた。福田岳辛勝である。保守自民党の政治が必ずしも全面的によいと考へないが、辛勝程度で真剣、厳肅な政治を執行していくことが一番望ましい。世界屈指の財界にのし上げた力を維持していくためにも、極端な言論、思想を抑制していくためにも、今のところ自民党の力に待つものが大きい。

日本人は忘れっぽい。おれ程さういふ口ツキで問題を忘れたのか、と自民党の選挙にゆかまつけるような人があれば、それは間違ひである。双頭の疑惑あるのは一部の政治家であつて、自民党そのものではない。自民党から政権を奪つて誰に日本の国を渡すべきであらうか。革新派といつたところで鳥合衆だ。各政見の方がつた連中が連合したところが一貫した政治をやるわけがない。たとへば社会党ではつい先頃江田三郎(故人)脱党騒ぎがあり、僅かな政見のくいちがいで二派に分れる寸前だつた。一口に革新、野党といつても、社会、公明、共産、民社、新自由、社市連、革自連と六つにも七つにも分れてゐる。英国のように保守、労働と対立し米国のように民主、共和、と政権を争うのならば話は判るが、日本の野党のように頼りない異物反底の寄り集りではどうにも扱ひようがない。

日本の国勢を守り育ててゆくには、保守党を上手に導き、政権を取り落さない程度に守つてやることで、吾々が遠いブラジルから、いらぬ心配をしないでも、そんなことくらい日本国民は百も承知の筈だ。しかし、まろが何もやる。あれだけ才能のある、えらい政治家、役人が居り乍ら、ソ連のミグ25が北海道へ逃亡した時、北米が何としようかと解をねかけて、ソ連大使館に渡すとか、その指示を仰がなかつたか、ミグの解体などすれば必ずソ連の進軍にふれ、北方領土問題などで、シッペイ返しを受けるだらうと、吾人は早くからそれを指摘したのに、米国人専門家に渡してしまつた。その結果はどうだ。北洋漁業問題でさうさかたきを打たれたではないか。まだまだいぢめられるぞ。

福田さん、しっかりしてくれや。参院戦で勝つたからとて棒がゆるんでぢや駄目ではないか。もし衆院でも解散して総選挙に持つていくことになつたら、共産などと議席もやうぬよう、鬼頭史郎に電話

SUPER MERCADO TARODA

Rua Adhemar de Barros, 175, Fone: 16 Bastos. E.S.P.



ルア アデマル デ バールロス 街一七五番地
太郎田屋嘉工門
電話 十六番

何でも揃つて安く買ひよい店
内外雜貨・食料品・酒類・清涼飲料水・娯楽用品
台所用品・電気用具・水道用具・金物類
陶磁器・日常必需品一切
店頭にてクーポンポスト、切手も用意してあります。
郵便局の遠い方は御利用下さい。

FLORA BASTOS

T. MORIMOTO & FILHOS LTDA.
Rua Duque de Caxias, 271, C. Post. 171, Fone 29, Bastos

森元苗木本舗

生活の安定は備えて果樹園の造成を、果樹園成功の鍵は苗木の良種を遊ぶにあり、苗木のこころなう農材皆公認の
フローラバストス森元苗木本舗へ御相談下さい。丁寧に御説明いたします。
果樹苗の外植用樹、庭園用樹、生垣用樹、花木類一切、盆栽用、鉢植用、前庭用としてつばき、バラ、ウツリ、モクセイ、ヒイラギ、モミヂツツシ、松、杉、桧、菜、モクレン、サンバイア等蘭色々珍種改良種・原種打とあります

ヒロシマ日記 (六)

医学博士 蜂谷道彦

アメリカ本土攻撃「八月十一日」のつづき。県の衛生課の書店はすぐ目の前に見える。それがもう簡単に行けない。松井君が向へむいて長嘆息を

する。「先生、道遠をしておえつて悪かったぞすなあ」と溜息をす
る。ミツバチの箱のような小じんまりしたコンクリートの家が焼け
てなくなった填方の唯一の建物だ。県庁の機能はここに活動してい
るのみだ。剣巻の若い課長さんと、教名の生き残り組が石炭箱や、
破れ椅子を寄せ集めて賃賃を置いている。課長は私と同郷で、岡山
弁丸出して話した。松井君が私に目配りした。松井君は私と課
長と話をしているうちに、山と積まれた衛生材料の中から必要な品
を物色したらしい。私はすぐ課長に別れをつけて引き揚げた。

病院へ帰って、つくつく考えた。市内の医者がピカドン前に一
〇名余り居た。その内七、八〇名は死んでいる。課長から一人一人
名前を聞いた時には「毒だと思つたが、それ以上の感じは起らな
かつた。そして現在も別に何の感じもない。残場心算か「死んだ
生きたか」と二つの認識しか残らない。私の悪意は反応かによつて
人の生死に対して全く無頓着になつてしまつてゐることを再確認し
た。

「これで現在の広島では一等よい病院だ。県の衛生課を聞いてきた
皆、もう少し準備してくれ、えらいだろうが……」
などと言つて、病院中を廻つて見た。それが課長和の回診だ。そ
の時、私の姿は、骨相の悪い汚れたパンツ一つと、手袋のシャツ一
枚ひっかけただけの刀ッコで、おまを医者の刀ッコではなかつた。
それでも私の服装は患者のそれらに比うべると、はるかによい方だ
つた。腰巻一つの瀕死の老母がいた。丸はだかで全身火傷の青年、瀕
死の母の乳をのみ眠る小児、すごい美人で顔が焼けずに体中大ヤテ
ドで血ウミの中にいる娘さん。血みどろのスポンだけしかはしてい
ない兵もいた。被服のないものは、カーテン。テーブル、クロス、
病院や通信局の焼け残りのセイン製島を利用して、なんとか刀ッコ
ウをつけているようであった。

なに、原子爆弾ノ

八月十二日 夜更しと疲れとで体がだるい。久しぶりに歩いた
ためか、足の節々がぬけるようで、起きよる気がしない。顔をさす
つて「ヒゲが伸びたなあ」とつぶやいた。そばにいた須戸さんが
「剃つてあげましょうか」といつてくれた。須戸さんはハサミでつ
んでくれた。そこへ藤原一郎君がやつてきた。一郎君は同じ郷里の
海軍大尉で、右国の兵学校の生徒だ。軍艦が沈没してから陸上戦闘
のケイゴ中だ。私の枕もとへ来て「先生、助つてよかつたなあ。ひ
どくやられたなあ」と、岡山弁丸出してあいさつした。家内が「一
郎さん、あのモモは美味しかったよ。一個たべただけ、残りは皆虎
にしてしまつておしいことをした。もつ一つたべとつたら、こんなケ
ガをしとらんのに」

と云つて、自分の体を見廻す。私は、その話をきいて一郎さん
が、力の前夜岡山から白桃を持って来てくれたこと、一泊したこと
、朝ろくろく顔も洗わず眠へ走つたことなど思い起した。家内の話
で冷蔵庫の桃を思い出して美味い味が口の中によみがえつて唾液の
分泌がわいた。

「せいで、たずかりヤーえいが」と一郎さんはにやにや笑い笑い
云つて、カバンの中からウィスキーとタバコを出してくれた。それ
で「よつ助つたなあ」をくりかえし、私の家内の顔や手足をみつめ



INSTITUTO DE OFTALMOLOGIA DE TUPÁ

Clinica e Cirurgia de olhos
Prescrição de óculos e Lentes de contato

Rua Carijós nº 278 - TUPÁ - Fone 2093

Dr. Isao Umino

Dr. Luiz Carlos Alves Negrão

眼科専門医

ツパン市 エヌモンロトピアリオ前
に診療所を開けて居ります。
バスとス出張中から治療中の
方、又眼鏡の度数測定の方及
び眼病の治療手術などの方は
連絡恐縮ながらツパンまでお
いで下さいませう。お預け申し
あげます。

診療時間は日曜祭日以外
午前八時より十二時まで
午後二時より六時まで
尚 INPS の受付いた
します

Dr. 海野 勲

Dr. ルイス・カルロス・アルヴェス・ネグロン

ツパン市電話二九〇三番

花の御礼

ブグレツン区

吉田

フサ 江 登

去る入植祭の演芸会の節演劇に出演致しました処左記
の方々より過分なる御花を頂戴いたしました。紙上を以
つ厚く御礼申しあげます。

順序不問 生方正 義 様

乗原芳子 様 吉田はるみ 様

豊田正次 様 新谷キヨ子 様

池田イワオ 様 鮫川夕ツ子 様

豊田春江 様 高橋 様

戸田源作 様 佐藤重助 様

古谷清一 様 島本進 様

古谷君江 様 梶山双樹 様

上田寿 様 上田 様

水口パール 様 上田 様

小橋博 様 上田 様

貝岐保雄 様 以上

「まさか原子爆弾がきたらとは思わなんだ」と軍人らしい返答をあげた。

「なに、原子爆弾？」私は思わず大きな声で怒鳴って飛び起きた。「原子爆弾というのはいくらも水素かあればサイパン島が二つに割れてなくなる分じゃろう。小山先生がいつかそんなこといってたぜ。あれか」と聞きただいた。一郎さんは、岩国ではどういふ話だ、と聞いて、海軍病院の話をしてくれた。

「海軍病院では詰めかけた罹災者の治療と研究をしている。もうじやが、厄介な病気だぞですぜ」という。一郎さんは医者ではないから、病気のことはあまり詳しくない。それでも一郎さんの話で罹災者の白血球の少くなっていることだけは確実だ。

白血球が少くなる。私にはさっぱり見当がつかない。なにが一郎さんのほうがいではないか、心ひそかに思った。早速顕微鏡の用意だ。一応調べてみなければ何のことやらわからぬから顕微鏡をしろべたが、使えそうなのは一つもない。吹き飛ばされて腰が折れたら、レンズがとんで見えぬもの、その上白血球の計算機がない。みんな判れしまったのだ。笹田君が、薬局に頼らしいのが一組ある。善だ。あれが助っているかも知れぬという。私はなんべんか薬局を訪ねてみたが、それらしいものはない。私はあきらめて非被災地の診療所からそれらの道具を拝借することにした。一郎君が帰ってから、「原子爆弾か」とうたされた。来る人、ことに原子爆弾ということやと吹聴し、耳学文の千工をふりまいた。

夕方近くになつて階下の4病室を一回りした。無傷患者の食慾不振、吐き気、おくび、下痢、血便などの胃腸症状は大体消え、二、三の毒を除いて殆んどすべて全快した。しかし、それに替って口内炎かヘントウ腺炎か、口の裏るといふ患者が火傷外傷の区別なく現れた。発熱している患者が多いのだが、検温器がなく検温する方法がない。私は「階の患者と下の患者とよく診て外傷患者に快癒の見込がかった。

玄関口のゴミをかむった老婆が、昨日もさうであつたが、今日もまた同じ詰りで、

先に死ぬ看護人

私は火葬の様を見たいと思つた。夕暮れた、病院の垣根から十、五間離れたところに露天フ口がある。そのすぐ横が火葬場だ。こわれた机や板切れが積みかさねてある上へ北尾君と山崎君がドアに乗せた死人を運んで滑りすまうに死體をたずらす。ついで二人の看護婦さんが死人の工リやすを正す。それがすんで、山崎君と北尾君が大きなトタン板をかぶせた。山崎君が点火する時、私は思わず手を合せておがんだ。

毎日のことだが僧侶がおれば、一人一人の故人が満足して成仏するだろうと思つて火のまわり加減を見守つた。わきのフ口から大きな音がした。「今日は何人か」という。通信局のものがフ口の中から、こつちむしてたずねているのだ。私は北尾君に「いつもこんなのか」と尋ねた。

「そうです。毎日のことですから、なれてしまつて平気なものです。

花の御礼

島本 島本文子 進

去る入植祭演芸会の演劇に出演致しました際左記の方々から御ひいきの御花を過分にいただきました。紙上を借りて厚く御礼申し上げます。

- 貝田 凡児様 本田たね子様
- 後藤 武彦様 信太千恵子様
- 山内 博智様 石川とし子様
- 小橋 博智様 桑原芳子様
- 樋原 秋子様 若野しづか様
- 谷口 秋子様 木口信子様
- 上西 君子様 高橋製菓子所様
- 守越 砂江様 高橋京子様
- 浅田 トヲノ様 バール水口様
- 柴田 トヲノ様 島本ヌマ子様
- 永松 美代子様 井上さ子様
- 戸田 ツイ子様 渡辺初子様
- 梶山 米子様 篠崎サワ子様
- 宮武 夏子様 田川シズ様
- 太郎 田子様 郷原章夫様
- 石橋 とし子様 新出晴男様
- 古田 こふさ様 堂前花代様
- 宗像 好子様 藤原川小冬様
- 吉田 さみえ様 原野小冬様
- 吉田 ふさえ様

花の御礼

バスト又生長の家若鳩会

去る入植祭演芸会に私達団体随に参加致しました。左記の方々から沢山の御花をいただきました。ありがとうございます。

- 清家 仲江様 山口良夫様
- 宮崎 優様 数田紀元様
- 吉田 正治様 井上さ子様
- 西田 正治様 小茂田光昭様
- 伊勢島 勝様 真木諭吉様
- 鶴山 茂平様 郷原章夫様
- 梶山 繁盛様 小橋幸江様
- 小倉 杉夫様 中浦富子様
- 奥田 耕夫様 平野千代様
- 中浦 時江様 木口ふみ様
- 有吉 盛正様

以上

と言し乍ら「一人だ」と返事をする。
暑い日だ。ムツとするような熱い風が時々吹く。風の無い時は体中ねっとり油汗がにじみ出る。夕方だった。いつも福屋の方から多勢の人が行列をつくって、こちらへ向って戻ってくるのが、今日にかぎって少ない。暑さのためか、探す人が少なくなったのか、私は見舞ってくれた知人に訊ねてみた。

「今日は日曜日だからでしょう」という。私は日曜日とは思わなかった。今日が何日か、何曜日か見当がつかぬようになった。
ところが、よくきくと、人が少ないのはそればかりではない。二、三日、ピカから広島へ毎日出てきていたものが、ぼつりぼつり倒れて、中には死ぬものもあるようになった。そして、
「広島のがすま吸うと死ぬ」というウワサが乱れ飛んでいるのであった。

そして静かに考えた。不可解な例が病院の中にも現われている。無傷で健康そうに思われるものが、わずかに二、三日のわずらいで死んでいる。看護している者が、重い病入より先に死んだ例もある。同じ家について、病人は家の下敷きになり大怪我をし、ある人は無キズで看病していたのだから、もし毒がスなう二人とも同じ症状が出ねばならぬが、ケガをした方はよくなり、無キズの方が死ぬ。不思議なことがあるから、素人が毒カス説をとるるのは無理からぬことと思えた。いくら考えてもよいテエはない。私は半信半疑のまま寝入りこんだ。
つづく

蒼氓

石川連三氏 著

連載小説 26

もうこれから先きは着物は一枚も要らないですからね、船中ごみか縫い直しておいた方がいいです」と、今日だけはきちんとネクタイを結んだ講師の序文ではじまった洋裁講習会は、先ず最初にピンチメートルという長さの単位で縫いでしまった。彼女はイトをとると手を休めてぞぞろ遠い故郷を思い出したのである。會長松本さんは信州の紡績工場を、勝田さんの娘は畑にかこまれた堂々たるわが家を、佐藤さんは女工場の堀川さんとくじなつた父を――そして表原さんの女房は、専主が司厨室の手伝いで、ツヤカ等の皮を追分けの姉まわしで刺しているのに、講習会にも出席しないのでソドにころがり、お常もお腹も居ないから話相手がなく、向うの二階のベッドに上っている門馬さんの婆さんを見上げて言った。
「何と暑くなったなあ、なんぼか南さ来たべなあ」
「ああ」と婆さんは素気ない。
「これで、もっと暑くなるべなあ」
「なんぼか暑くなつて」
「やんだねはあ。おりや今日は補料一枚きりだになあ」
暑くはったからというので船籠の蓋が今日からすっかり外して、この暗い船室にも珍らしく美しい日光がさしこみ、デッキから門馬勝治が下をのぞいて、
「母さん、上って見な。ここは暑くねえ。風うんとあるもんね」と声をかけたが、婆さんは二階のベッドから降りるだけでも大変だ

御礼
金一封也
右、当会へ記念として御寄贈下さいました。ありがとうございました。ありがとうございました。
七月十八日
バストス明老会

御礼
金一封也
御母堂故美代子様の香典返しとして御贈の段あり
がたく御礼申上げます。
七月十八日
バストス明老会
山崎準吉様

花の御礼
具田凡児
去る入植祭に演芸研究会より出演致しましたところ
左の方々より御花を頂戴致しました。紙上をかりて
厚く御礼申上げます。
馬欠場恒奏様
信太順次様
天野昇様
板垣達志様
上西泰治様
菅野三郎様
信太三志子様
吉田登様

御礼
金一封
御母堂山崎美代子様御他界の御り香典返しとして
御寄附下さいましたる段厚く御礼申上げます。
山崎準吉様
佐藤豊様
南伯区

御礼
山崎準吉様
佐藤豊様
南伯区婦人会

花の御礼追加
バストス婦人会
大塚孝夫様
奥田耕様

花の御礼追加
宮武勝甫
守越松江様
具田凡児様

だから便所へ行くのも我慢している次第であった。

洋服の講習が終ったころ、B室の藤本君の弟が監督室へやって来て、村松にむかってつわりの女房がどうもこのままではいけないように思うと、おろおろと訴えた。そこでまたドクターに交渉し、芝田看護婦の同情を得て早速船尾の一段高い病室へ収容することにした。病室はともかくも多少清潔で、高だけに風通しもよく日光もはいるが、船のはしの方になっているだけに揺れる時には相当はげしい苦である。

前髪がすっかり伸びてぼやぼやになったつわりの女房は、赤い緋の夕オールの襦袢の裾を引きずり、若い頼りない良人の肩につかまってまたまたと階段を上った。それから久しぶりの日光を満身にうけながら、病室までよろけて行った。

船尾では移民たちのシヤツや襦袢や越中褌などの乾物がひらひらと海風にたびびして、スピードメーターの長いロープが泡立つ水のすつと遠い方まで引きずられながらうくるくると廻っていた。波の上をこぎつて鷹のような鳥がぐんぐん飛んで行くのが見えた。

病室ではつわりの女房は黒川の栄養不良の髪尾や腎臓炎の山下君と二緒であった。また船尾のとなりに助産婦で働いている婆さんがあつた。ときどきこれらの病人の家族がやって来た。またときどき看護婦の様子を見に来た。しかし誰も見舞に来ていない時、この室は陰惨な相貌を呈していた。死に近い四つの命の喘ぎが、熱のある呼吸が、一種の臭気を伴って空に満ち、痲痺のもとに崩壊しようとする人間の弱さというような凄惨なものか忍じられた。消毒用の洗面器が入口においてあり、赤い昇永水の表面にエーシンシンの波動がびりびりと漂っていた。健康な子供たちがデッキで騒ぐ声か丸窓から聞こえていた。それが遠い国の物音のように縁遠く感じられるのであつた。この部屋には、はるばるブラジルまで移民してゆくことの大易ならざるもの、この事の意味が象徴せられていようように思われた。

しかし、ともかくも航海は平和で無事であつた。船はもう明日はサイゴンに入るようになっており、ここではコシラや、腸チブスが流行しているのに、一人も上陸させないことに規定されていたが、何の不手もなかった。もう外国はホンコンだけで火山のようであつた。殊に大洋を航海しているあいだは移民たちは長閑で平和であつた。

機室までもはつきり見える夜の航海は、半球を描いた空が満ちて凡天升のように思われ、波のしぶき船首のあたりからは飛び魚が夜目にも白い腹を見せ水面をかすめて飛んでいた。気候は日々暑くなり、もう全くの真夏であつた。寝苦しい夜が近づいた。

こうして一人の監督と助産婦のもとに、病室の患者たちも加えて一千ちかい移民をのせた汽船は、暗い海を南におかちてひた走つていた。ブラジルまであと三十六日である。そしてこの夜、船首の方にあたって波の上へくぐり南十字星を見た。ブラジルでは毎夜頭上に輝く神の護りの星座である。移民たちは一種の親しみと一種の祈願をこめてデッキに立ちつくしてした。これから先きの生涯をこの星のもとに生きて行くこととする自分たちの、遠く母国を去り行く身の上があつたためと考えられるのであつた。

印度支那の港サイゴンにつく時は、烈々と燃え上るまうな太陽を

花の御礼

コチア農協婦人会

去る八植祭演芸会の御礼送農協婦人会が初めて出演致しました。廻左記の方々より多大なる御礼を頂戴致しましてありがとうございます。紙上を以て厚く御礼申し上げます。

山口 良夫 様	新谷 寿二 様	真木 アマノ 様	工藤 ハルエ 様	相原 佐和子 様	中浦 時江 様	小茂 田 様	宇佐 美 様	高橋 製菓所 様	風間 トシ子 様	清家 ルミ 様	内馬 場ミヅ子 様	板垣 菜局 様	溝部 静子 様	岩堀 満男 様	大塚 孝雄 様	信太 節子 様
コチア村コチア農協婦人会副会長 様	聖岩 テレーザ 様	嶋 育重 様	豊島 喜一 様	桑原 みね 様	高橋 保政 様	豊島 絢子 様	佐藤 一男 様	坂口 キタンダ 様	奥田 耕 様	本多 鮮魚店 様	栖原 清 様	坂口 義一 様	佐々木 広子 様	田中 里乃 様	菊地 ツタエ 様	宮崎 フオット 様



CIELMAR TURISMO LTDA.
MAINICHTUR (毎日ツール) 旅行社

秋の訪日プログラム

出発期日 1977年9月2日 (観光便)
1977年9月7日 (直行便)

観光便 - 9月2日 --- (PA/PL/AV/JL) 航空 (鹿児島・西樺南州百年祭 訪日団、第2回養老視察団 一般秋の観光)

訪日団募集

9月7日 --- (PA/PL/AV/JL)
9月7日 (4社協定)(日本航空)

手続がありますから早速御申込み下さい。

申込所 坂東商店 パウリス方面代理店
(くわいことは代理店坂東でお尋ね下さい。)

もって始まった。船は河を溯り上り、河は泥水の色をしてスクリユリの波紋がはるかの岸までうねって行った。真白い霧のような鳥が何十羽も飛んでいた。兩岸は草に覆われた低い土手のように続いて、どこまでも平たく、鮮やかな緑がなまなましかった。まるで今生えて来たばかりのようであった。

マストにO.S.Kの旗が上った。うしろマストには日章旗があった。すると船はもう一人淋しい旅人のように見えた。移民たちはデッキの日傘を送んで坐り、兩岸の鳥をタタしく平たい風景を眺めていた。暑いので皆シャツ一枚であった。

お夏は船尾の洗濯場へブリキの甕を持って行った。そこではもう同輩の女たちが四五人洗濯をしていた。門馬義三も混じって風呂の類を洗っていた。

彼女は片隅へ跣足に、て踊り、粉石鹸を水に溶かした。すると襟巾が入って来て、

「姉さん、これあつた、頼むべえ」と言つてシャツを一枚一枚に投

「あのだ……」とお夏は弟の顔を見ないで言った。「監督さんは汚れもの何ほか有るべどもしや、始末出来、かなあ。何だらおり

々今一輪に流つてあげてもええども……」

「んだー」と弟は叫んだ。「独りもんだは女手無えもん。おら訊いてやっべ。」

お夏は大きな声をするとお夏は他の女たちに聞かれないかと思つて嫌な顔をした。お夏はほとんど愛情を表現することを知らないような女であったが、隠れているのではなかった。どんな大きな事件に直面しても顔色一つ変えないで黙つて受け容れる不思議な心の容積をもつていた。しかも決して外に吐き出さないと、じつとしまつておくのであるが、消してしまうのではなかった。或は彼女はあの時以来小水を煮うようになつて来たのかも知れない。恰度彼女が最初特に好きというでもない堀川さんの腕に抱かれて、まごころ、彼を好きになつて行つたと同じように。

以下次号へ

花の御禮

創価学会パウリスタ支部

去る入植祭演芸会に私達支部も参加致しました。左記の方々より過分の御花を頂戴致しました。紙上を以つて厚く御礼申し上げます。

- | | | | | | | | | |
|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-------------|---------|-------------|---------|
| 山 踞 聰 三 様 | 小 田 切 敏 雄 様 | 木 本 すすみ 様 | 佐 藤 のり夫 様 | 小 茂 田 様 | 本 多 鮮 魚 店 様 | 宮 武 様 | 光 石 三 佐 子 様 | 佐 藤 様 |
| 森 田 キヨヨ 様 | 石 川 トシ子 様 | 石 川 トシ子 様 | 田 結 庄 様 | 板 垣 薬 局 様 | 野 中 キヨ子 様 | 宇 佐 美 様 | 輿 田 高 店 様 | 輿 田 耕 様 |

御 礼

第四十九周年入植祭々典に当り御参席を戴き其の上御鄭重なる志付けを勸進元へ下されました左記の方々へ紙上を借りて厚く御礼申し上げます。

一九七七年七月十八日

祭典執行委員会勸進元

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-----------|--------------|-----------|-----------|-----------|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 奥 田 耕 様 | 井 上 源 二 郎 様 | 星 川 上 様 | 清 家 武 一 様 | 山 田 田 衛 様 | 太 郎 田 衛 様 | 守 佐 美 水 テル 様 | 石 橋 敏 子 様 | 根 川 次 夫 様 | 吉 川 次 夫 様 | 水 本 養 鶏 場 様 | 堀 田 商 店 様 | 池 田 巖 様 | 山 中 三 郎 様 | 中 澤 三 司 様 |
| 工 藤 はるえ 様 | 豊 島 喜 一 様 | 郷 原 章 夫 様 | 小 澤 養 鶏 場 様 | 牛 尼 陽 子 様 | 小 津 三 郎 様 | 小 野 志 様 | 大 塚 孝 夫 様 | 大 塚 孝 夫 様 | 谷 口 秋 子 様 | アレンツ島花協会体育会 様 | 池 戸 様 | ピリグ斗婦人会 様 | 大 西 文 吉 様 | 大 西 文 吉 様 |

おしらせ

日時 来る八月十一日夜七時から
場所 森川食堂に於いて

愛蘭会総会

開催致しますから御通知申し上げます

会計報告の件

会費納入の件

その他の件

右の御相談致したいと思ひますので、御多忙中の処恐縮でございますが万障お繰合せ御来席下さいますよう御案内申し上げます

バストス愛蘭会

愛蘭会々員各位

農村電話架設に就いて再度の御知らせ

去る六月三十日午後八時より文協会館に於いて「農村電話組合」の臨時總會を開きました。この總會によつて銀行から融資を受けることに決定致しました。融資は電話取付費用全額の八十%の融資を受けるのであります。この電話取付に就きましたは、最初皆様から二割の費用積立をお願ひしたわけですが、昨今諸物価の高騰激しく、これに伴い電話も受話器一台につき値上りをした差額五千クルゼロス支払わねばならなくなりました。つまり三万クルゼロスの電話取付費用が値上りの為め五万五千クルゼロスに値上りしたわけで、その二割の積立金額が一万一千クルゼロスになったわけです。この一万一千クルゼロスを各組合員が積立成立完了と同時に「B.A.D.E.S.P.銀行」より残りの八割の融資が必ず出ることになつて居ります。

電話架設作業の準備は刻々進んでおり、融資が出次第、材料を買いしめ（外国品のため、とんとん値上りしつある由、早く購入しないと値上りのため余計に高くなる）直ちに架設に取りかかることとあります。各組合員におかれましては、全額の二割の差額五千クルゼロスを七月末までに、南米銀行へお届け下さるよう御願ひ申し上げます。

一九七〇年七月十一日

農村電話組合長 山中安彦

農村電話組合員各名位

花の御礼

フルーツラ農友会婦人部

私共の出演に対して多大のお花を戴きましてまことに有難うございました。心よりお礼申し上げます。

奥田 耕 様	谷口 玳時 様
山口 良夫 様	大熊 四郎 様
清家 彌美 様	大熊 昭十四 様
宮崎 様	大塚 孝雄 様
小茂田商店 様	新出 晴男 様
豊島 絢子 様	竹内ソフィア 様
梶田 様	山本マズ子 様
堂前 武男 様	池田 健 様
豊島 喜一 様	豊島 愛子 様
山田 武一 様	木四代志美 様
坂口キタノ 様	植木あやか 様
池田 巖 様	ホテル宇佐美 様
工藤 なつえ 様	工藤 はる江 様
豊島 すえ 様	吉川 信夫 様
池田 シズ 様	藤井 三小 様
本多 鮮魚店 様	穴見 哲人 様
板垣 薬局 様	斎藤 登 様
照井 様	

花の御礼

板垣 光枝

去る入植祭演会にコチア農協婦人会より団体舞踊に出演致しました処左の方々から過分の御花を頂戴致し誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。

花の御礼

吉田 はるみ
吉田 勇二

私たちの踊りに対した皆さんのお花をありがとう。あつくおれい申し上げます。

矢島 かつ子 様	西川 静江 様
吉田 リリマン 様	古谷 君江 様
伊勢 島 様	中村 コミリヤ 様
弘 田 様	伊勢 島 寿一 様
おげあちゃん 様	吉田 マルシヤ 様
豊田 香江 様	

花の御礼

バストスP.L.婦人会

入植祭演芸会に私達P.L.婦人会の出演に対し左記の方々から沢山の御花を戴きました。厚く御礼申上げます。

- 郷原 幸夫 様 島本スマ子 様
- 谷口 二郎 様 茂庭 妙子 様
- 直野 千里 様 宇佐美ホテル 様
- 堂前 武夫 様 三角 等 様
- 池田 健 様 山口 良夫 様
- 小茂田 商店 様 小澤 養鶏場 様
- 坂垣 榮 局 様 田川 笑子 様
- 谷口 スミ子 様 田川 シズ 様
- 穴見 哲夫 様 堂前 花代 様
- 伊藤 妙子 様 大塚 孝雄 様
- 谷口 常子 様 奥田 耕 様
- 本多 鮮魚店 様 新谷 寿二 様
- 本多 司 様 清川 キヨ子 様
- 有藤 アイ子 様 橋岡 吾美 様
- 坂口 キタンダ 様 三鼓 衆美 様
- 坂口 義一 様 森元 みきよ 様
- 池田 しづ 様 上原 ユキ枝 様
- 照井 英夫 様 今岡 とくよ 様
- 鴨原 二郎 様 星島 幸子 様
- 山根 きくみ 様 木原 イシノ 様

花の御礼

宇佐美とく子

去る入植祭演芸会の出演に対し左の方々から過分の御花を頂戴いたしました。まことに有難うございました。厚く御礼申上げます。

- 永原 芳子 様 伯光 団 様
- 山口 良夫 様 日蓮正宗婦人会 様
- 宮武 強七 様 柳原 真理子 様
- 弓場 信子 様 柳浦 さわ 様
- 小野 信子 様 小野 慶子 様
- おやじ(ツッパン) 様 小野パイロン始(ララ在佳) 様
- 光石 三佐子 様 宇佐美みな子 様
- 清家 瑞美 様 本多 鮮魚店 様
- 小野 菊枝 様 鶴本 多 様
- 宇都宮 千末 様 水本 幸子 様
- 友谷 千春 様 石橋 幸子 様
- 槻田 商店 様 片岡 中子 様
- 上田 せい 様 朱田 シズ 様
- 牛尾 陽子 様 朱田 シズ 様

日南アルミニウム社特製の

萬能鍋 益々好評

入植祭展示即売場で売切のため、御注文を頂いた万能鍋は、先日御注文へお届け致しました。あとから、あとから次々と御注文がおりますので、再度御注文を受けさせていただきます。御希望の方は御申込下さい。

「炊く」「煮る」「蒸す」「炒める」「揚げる」をこの鍋一つで出来ます。その上燃料が半分以下で経済的です。燃料の経済的である理由は、野菜をゆがく時でも水を使わずによいからです。蒸気がこもりにこもって蒸気が逃げないため、熱効率が百分利用といえるわけです。フジゴのアサドでも焼いた鶏を鍋に入れ、十分間強火で、あとはホタル火程度にしる三分最後に五、六分強火にして火を止め、十分間そのままにして、互取れば、フジゴのアサドが出来ます。お試し下さい。見本(実物)がありますから、ごらん下さい。○ 値段は大六〇〇・中五〇〇・小四〇〇の三種類です。取次人(カナダンサ近所)電話二二五番 伊藤 まで

ARTES GRAFICAS "GRAFISUL" LTDA.

Rua Pres. Vargas. 353. BASTOS E.S.P. Antiga prédio do Bco. América do Sul



美術印刷所 開業御通知

元 南米銀行の建物
ノックヒスカル印刷物
農産物出荷の伝票の印刷
結婚式の案内状、
各様式の美しい名刺
その他数量控の伝票その他。

Atendemos pelo telefones - 281 e 282.
Impressos - Notas Fiscais
Notas Produtos
Cartões Visitas
Convite e Casamentos
Ficha de Controle
Qualquer tipo de impresso
Perfeição, rapidez, e bom acabamento
開業に当り、印刷技術に活字等すべて新品を使用致しましたので、印刷の仕上りが美しい。その上、親切丁寧、迅速をモットとしております。

アルテスグラフィスール印刷所

花の御礼

ファルツラ区 豊島工レーナ

未熟な芸に對した皆さんのお花をいただきました。まことに有難うございます。

- 本田 田
- 梶 田
- 島崎 みき江
- 大塚 孝雄
- 松本 テル子
- 早川 花子
- 竹内 ソフア
- 生方 正義
- 清家 瑠美
- 阿部 幸子
- 鶴 勝

花の御礼

豊島カルロス
工レーナ

私達の未熟な芸に對して皆さんのお花をいただきました。心からお礼申し上げます。

- チア 愛子
- 山口 良夫
- 細江のおぼあちゃん
- チア エリーザ
- チア はるえ

花の御礼

ファルツラ区 豊島カルロス

はじめの出演に對した皆さんのお花をいただきました。まことに有難うございました。

- 早川 花子
- 阿部 幸子
- 水口 ハール
- 清家 瑠美
- 生方 正義
- 竹内 ソフア
- 本田 たね子
- 島崎 みき江
- 松本 テル子
- 梶 田
- 柳 浦
- 鶴 勝

至急に求む

養鶏場で二三人働いて下さる家族が夫婦者を至急に求めます

住宅付 電気及び水道の設備があります
通学用のある方でも市街地までかわずか二キロ
距離ですから徒歩で通学が出来ます

御希望の方は直接御来談下さい
セッソン グロリア II 区

古賀一敏

花の御礼

藤川一若
田鶴子

私達去る入植祭演芸会に出演致しました処左記の方々より御いさとして過合なる御花を頂戴いたしました。心より厚く御礼申し上げます。

- 佐藤 重助
- 早川 君枝
- 原野 小冬
- 前山 義雄
- 貝岐 保雄
- 椎田 幾男
- 木口 正功
- 乘原 芳子
- 織田 シズ
- 高橋 製菓
- 吉田 登
- 小橋 ひろし
- 信太 順次
- 林 久江
- 小林 小久
- バスターズ 教婦会
- 島本 真実

開業お知らせ

長橋法律事務所

法律に関する一切の御相談に応じます
何んでもお気軽に御相談下さい

弁護士

長橋 浄

電話 二二三番

マテイラ販売所

建築用木材販売所を開業しております故
多少にかかわらず御用命下さいますよう
お願い申し上げます。

ルア プレンテンテ ヴァルガス ハ三〇番地

コマフのとなり

ポンド デ マテイラ

電話 二二三番

DPO. MADEIRAS PROGRESSO E ESCRITÓRIO ADVOCACIA

Rua Pres. Vargas - 830 C. Post. 29
Fone: 223, COMAF - Vizinho

Rua Pres. Vargas 2/2 C.B.P. 17690 Bastos S.J.

Dr. Luiz Kiyoshi Nagahashi

中山靖雄先生講演会

先生は学習院大学を卒業されて修養園本部講師となり、関西会館館長をかねて居られ、青年講習、婦人講習、機業講習のペテランとして日本全国を講演されていきます。尊父は戦前朝鮮の百余支部の連合会の中軸として活躍され、八十余歳の現在尚カクシヤクとして九州方面を指導されています。親子二代に亘って教化運動の推進者であります。

二度とない人生を 如何に生く可きか
 明るい家庭 住みよい郷土を作るには

如何にある可きか

日本の若き指導者の熱弁を是非お聞き下さい

お知らせ

日時 八月四日午後八時
 場所 〓 バストス総合会館

主催 バストス日伯文化協会

花の御礼

磯谷つきの

入植祭演芸会に婦人会より出演致し、左の方々から
 沢山の御花を頂戴致し、ありがたく御礼申し上げます

柔原 秀子 様 牛 尾 陽子 様
 小倉つよし 様 小林 小久 様
 山本 栄子 様 光石 教貢 様
 杉山 みつ 様 友谷 千春 様
 光石 三佐子 様 以上

花の御礼

去る入植祭の演芸会にコチア農協婦人会より
 私の出演に対しておたくさんの御花を頂戴いたし
 まことに有難く、心より厚く御礼申し上げます。

加 藤 マサ子 様
 榎 原 信子 様
 篠 崎 佐和子 様
 亀 田 毛子 様
 佐 藤 雅子

総合会館使用日程表

八月二日	文協理事公会	会議室
四日	講演会 修養園	サロン
六日	バイン・サング校八年生	サロン
八日	浪曲 天津羽衣	サロン
八日	中央区 役員会	会議室
十三日	バイン・サング校一年生	サロン
十五日	野球部役員会	会議室
二十一日	二十三日の二日間	
	汎パウリス夕柔道大会	サロン

以上七月二十五日調べ

バストス日伯文化協会広報部

生長の家行事日程表

八月二日 午後八時 教区一夜現真会 (バスター教会)
 七日 午後一時 白鳩会
 十三日 午後八時 講演会
 十四日 正午十二時 誌友会
 二十一日 午後八時 役員会
 二十八日 伝道者勉強協議会 トッパン
 二十九日 午後八時 夜の誌友会
 以上

バスター生長の家誌友会

花の御礼

去る入植祭の当夜未熟な芝居を上演致しました
 ため、過分なるお花を頂戴いたしました誠に有難う
 ございました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

風間定乃様

演劇研究会役者一同

日本歌謡浪曲界の女王

女流浪曲の花形

皆様しコードでおなじみの浪曲界の人気花形の
 采伯です。浪曲愛好家は是非お出で下さい
 名匠の実演です。

天津羽衣師演習

とき 八月八日午後八時より

ところ 総合会館

主催 バスター日伯文化協会
 後援 ブラジル浪曲協会

Organização Social de Luto Regional

Rua Adhemar de Barros nº 295 - Fone: 361 Bastos E.S.P.

Residência no Local, faça Bastos crescer prestigiando seu
 comércio sobre direção de aparecido feriano -
 niveir EX Funcionario de Funeraria São Pedro -
 artigos Funeraria prestação de serviço Flores.
 cores veias. Hossenko Hinaie artigos para -
 UNBANDO egeral Atendimento pelo INPS e FUNRURAL
 Atende-se dia e noite

葬具店 フネラリアサンペードロ

後藤さんのガソリンポストの向い側を開業しております。当店では一般の
 フネラリアに片足してある備品以外に、お線香、お位牌、生き花、花輪、口ソク、
 などの私式に必需品も常に準備しております。尚昼夜受け付けて居ります。
 お電話で御用命下されば直ぐお届け致します。INPS 交付致します。

ルア アデマル デ バーロス 295 電話 361番

花の御礼

田中里乃

去る入植祭演芸会の私の出演に対して左記の方々から
 御しきの御花をたくさん戴きましてありがとうございます
 いました。厚く御礼申し上げます

豊田 和枝様	豊田 和枝様	豊田 和枝様	豊田 和枝様
佐々木 江様	佐々木 江様	佐々木 江様	佐々木 江様
豊田 春江様	豊田 春江様	豊田 春江様	豊田 春江様
古谷 君江様	古谷 君江様	古谷 君江様	古谷 君江様
田中 信子様	田中 信子様	田中 信子様	田中 信子様
豊田 和枝様	豊田 和枝様	豊田 和枝様	豊田 和枝様
佐藤 原信子様	佐藤 原信子様	佐藤 原信子様	佐藤 原信子様
佐々木 広子様	佐々木 広子様	佐々木 広子様	佐々木 広子様
長岡ミランダ様	長岡ミランダ様	長岡ミランダ様	長岡ミランダ様
以上	以上	以上	以上

FABRICA de GRANITO

Av. Rio Branco % C. Post. 23, Fone. 515
 ADAMANTINA E.S.P.

大西文吉

大西石碑工場

電話五十五番

日本式及ブラジル式
 墓 碑 記念 碑
 胸 像 石 燈 籠
 石 白 もち 白
 石材美術彫刻一切製作
 古い墓の修理もいたします

アダマンチーナ市リオフランコ大通り

Auto Mecanica BASCAR LTDA.

Rua Adhemar de Barros, 295, Fone, 156. BASTOS S.P.

Agora em Bastos há uma oficina que você esperava com mecanica especializados em VOLKS WAGEN e CORCEL, retifica de motores com assistencia preços modico - e automeanica BASCAR LTDA, e todo que você esperava de uma Auto mecanca.

Agradecemos a sua preferencia.



オートマ
アトカ
アトカ

皆さんお待ちかねの
ボルクスワーゲン車
コルセル車専門のオフイ
ーナを当バスター市に特
設開業して皆様から好評
戴いて居ります。最高の技術
を持つメカニクが皆様の愛車
完全修理と調整で最高性能
を發揮することが出来ますよ。
しかも最低の費用で御用命を
承って居ります。

アウトメカニカ
バスカル商会

電話一五六番

NOSSA RELOJOARIA

TAKAMI SHIBATA RUA Adhemar de Barros, 213, Fone, 154 Bastos S.P.

各種有名メーカーの時計色々

カラーテレビジョン

ステレオグラブドル

ポケット用電子計算機

御祝儀用プレゼント

宝石・ゆびわめがね

装身具・室内装飾品

ガスライタ・電氣しげり機 銀器
高級陶磁器・いろいろ珍らしい物。

ルア、アテマルデバロスニ一二番地
レロイジョアリアタカミ

柴田時計店

電話一五四番

Arvore de Cune Bastos

七月二十九日(金)八時 二十日(土)九時半 監督 瀬川昌治
松竹 体験旅行 フランキー堺 城野ゆき
然色 奈美悦子 左とん平 ミマコ蝶々
これにはこれと目尻が下がる。美女の住みつきよと云う。兎合、恋愛、失恋、ハブニング!

七月三十一日(月)九時半 八月一日(月)八時 監督 斉藤耕一 伴作
松竹 逆見まり 森次浩司
然色 范文雀 有島一郎
松竹 萩原健一 小川ひろみ

八月五日(金)八時 六日(土)九時半 監督 野村芳太郎
松竹 高橋英樹 伊佐山夏子
然色 松若久美子 松下肇
池野志乃 松本邦根

八月七日(日)九時半 監督 山口百恵 伴作 第一回作品
松竹 三浦友和 四方正美
然色 石川さゆり 佐藤友美 中山仁
新保克芳 一宮あつ子

八月十一日(金)八時 十三日(土)九時半 監督 稲垣浩 吉川英治 原作
東宝 三船敏郎 水戸光子
関ヶ原の合戦から 八千草ひさる 三国連太郎 尾上九朗衛門
森寺の下り松まで 岡田茉莉子 加藤大介

八月十四日(日)九時半 十五日(月)八時 原作 柳子文六 監督 千葉泰樹
東宝 加藤大介 仲代達矢 有島一郎
秘蔵 小林桂樹 団令子 山村聰
各函 炎十景 三木のり平 川津清三郎

大番

宮本武蔵

伊豆の踊り子

昭和の枯れすすき